

# 第108回事務報告書

令和5年度

自 令和5年1月1日

至 令和5年12月31日

一般社団法人 **日本工業倶楽部**

令和5年1月1日より同年12月31日に至る事務報告書は次の通りであります。

令和6年1月

一般社団法人 日本工業倶楽部

理事長	川	村	隆
専務理事	今	井	敬
同	歌	田	弘
同	大	橋	夫
同	大	宮	明
同	野	村	郎
同	橋	本	徹
同	茂	木	郎
同	石	井	治
同	内	海	郎
同	大	坪	雄
同	岡	崎	雄
同	岡	本	昂
同	加	藤	夫
同	木	村	司
同	皇		之一
同	関	口	貢
同	長	門	一
同	向	井	二
同	宗	岡	人
同	初	井	晃
同	福	島	雄
同	畔	柳	孝
同	杉	山	澄
同	根	津	志
同	村	上	

# 第108回事務報告書

東京都千代田区丸の内1丁目4番6号

一般社団法人 日本工業倶楽部

本会定款第35条により、令和5年1月1日より令和5年12月31日に至る事業報告、決算、期末現在の貸借対照表及び財産目録、並びに定款第34条第1項により令和6年度事業計画及び予算を添えて次の通り報告致します。

## 令和5年度事業報告

### I 運営関係

#### 1. 通常会員総会

令和5年2月28日午後2時当倶楽部に於て第110回通常会員総会を開催、出席会員730名（委任状出席を含む）、理事長今井敬君議長となり、次の議案を付議。

議案第1 令和4年度事業報告承認の件

議案第2 令和4年度決算承認の件

議案第3 令和4年12月末日現在貸借対照表及び財産目録承認の件

議案第4 令和5年度事業計画及び予算承認の件

上記議案第1より第4まで何れも異議なく承認。

また、その他報告事項として次の議案が報告された。

一、令和5年2月28日付をもって理事長今井敬君が辞任し、新理事長に専務理事川村隆君が就任する

一、役員及び常置委員の定年を数え年九十歳とし、実施は令和6年の役員及び常置委員改選時とする

以上にて通常会員総会を終了。

#### 2. 理事長の異動

理事長今井敬君には2月28日辞任。2月14日開催の第635回理事会に於て専務理事川村隆君が互選により2月28日付をもって理事長に就任。

### 3. 役員の変動

理事野見山昭彦君には11月12日辞任。

### 4. 役員の変動登記の提出

代表理事今井敬君の辞任登記及び第635回理事会に於いて選任された新任代表理事川村隆君の就任登記を3月15日に、理事野見山昭彦君の辞任登記を11月20日に完了、所轄官庁にその手続きを了した。

### 5. 常置委員会委員長の委嘱

4月1日川村理事長より河野雅明君に食堂委員長を委嘱。

### 6. 常置委員の変動

集会委員姥貝卓美君には1月8日逝去。食堂委員上澤昇君には7月16日逝去。

### 7. 役員会等の開催

通常会員総会	1回	専務理事会	11回	理事会	3回
監事会	1回	財務委員会	3回	会員委員会	2回
会館委員会	1回	集会委員会	10回	食堂委員会	1回
文芸委員会	2回				

### 8. 会員入退会数

本年度の会員入退会並びに逝去の数及び現在会員数は次の通りである。

1. 入会	35名	法人	3社
		個人	32名
2. 退会	36名	法人	7社
		個人	29名
3. 逝去	21名	法人代表	0名
		個人	21名
4. 会員数 (令和5年12月末日現在)			
	935名	法人	261社
		個人	674名

## Ⅱ 業 務 関 係

### 1. 日本工業倶楽部会館の運営

本会館を運営して会員の集会、懇親の便を図ると共に、会員会社の株主総会その他の会議、懇親会及び公益性の高い経済団体等の会合の用に供した。

本年度に於ける会館利用数の集計は次の通りである。

諸会議 懇親会 その他	1,800回
来会者延人数	46,341名（1日平均 159名）

### 2. 実業家資料室

財界人の伝記、著書約4,300冊、会社・団体史約1,488冊、戦前の資料・稿本類約2,700点、および各種データベース等を備えた「実業家資料室」を運営、一般にも公開し多数の利用者および見学者があった。

11月1日実業家資料室公開講演会を開催

講師	明治大学経営学部教授	佐々木聡氏
演題	「戦前日本の主要財界団体の2つの系譜と日本工業倶楽部」	
来会者	50名	

### 3. 寿杖贈呈

本年米寿を迎えられた下記会員（生年月日順）

上 瀧 博 正 君	三 木 利 夫 君	保 田 博 君
栗 田 瑞 夫 君	水 崎 巖 君	江 川 淑 夫 君
岡 村 進 君	渡 邊 正 太 郎 君	大 橋 光 夫 君
藤 井 和 雄 君	山 本 惠 朗 君	徳 永 憲 彦 君
本 郷 美 宏 君	安 原 裕 君	古 賀 正 一 君
新 村 鋭 男 君	本 田 敬 吉 君	吉 田 宏 君

の18氏に対し寿杖の贈呈を4月27日開催の定例午餐会の席上に於て行った。

### 4. 科学技術の振興に対する寄付

産業の発展の基盤となる科学技術の振興に寄与するため、本年度も「科学技術振興基金」から、日本私立学校振興・共済事業団学術研究振興基金及び日本学術振興会学術振興特別基金に対して、それぞれ500万円を寄付した。

## 5. 会員午餐会及びその他の諸集会

会員午餐会	10回	木曜講演会	21回	金曜講演会	10回
実業家資料室公開講演会	1回（前掲）	健康を考える講演会			3回
会員共楽会（邦楽の会）	1回	会員洋楽演奏会			1回
会員作品展覧会	1回	クリスマス家族会			1回

○会員午餐会

2月24日	出席数28名、	3月23日	出席数29名
4月27日	出席数47名、	5月25日	出席数25名
6月8日	出席数43名、	7月13日	出席数26名
9月28日	出席数32名、	10月26日	出席数22名
11月24日	出席者25名、	12月26日	出席数41名

令和5年

### ○木曜講演会

（開催日）

（講師・演題・出席数）

1月12日	内閣特命大臣・衆議院議員	高市 早苗氏	
		「経済安全保障について」	115名
1月26日	慶應義塾大学総合政策学部教授	廣瀬 陽子氏	
		「ウクライナ危機：その背景と国際的影響」	91名
2月9日	防衛大学校長	久保 文明氏	
		「バイデンのアメリカ、トランプのアメリカ －分断の行方と国際政治への含意－」	65名
2月24日	株式会社三菱総合研究所理事長	小宮山 宏氏	
		「プラチナ社会とその実現」	55名
3月9日	三菱商事株式会社取締役	齋木 昭隆氏	
		「日本外交の課題」	84名
3月23日	公益社団法人日本経済研究センター理事長	岩田 一政氏	
		「金融正常化への道筋」	73名
4月13日	元中国大使	宮本 雄二氏	
		「習近平第3期政権の課題と挑戦」	85名
4月27日	株式会社日本総合研究所理事長	翁 百合氏	
		「日本経済の現状と課題～求められる潜在成長率の上昇～」	85名

5月11日	キャノングローバル戦略研究所研究主幹	杉山 大志氏	
		「地球温暖化のファクトと新冷戦下のエネルギー政策」	53名
5月25日	三井住友海上火災保険株式会社顧問・元防衛事務次官	黒江 哲郎氏	
		「転換するわが国の安全保障政策」	68名
6月8日	政策研究大学院大学学長	大田 弘子氏	
		「日本の政策決定の問題点-規制改革を中心に-」	61名
6月19日	立憲民主党最高顧問・元内閣総理大臣	野田 佳彦氏	
		「内外情勢について」	83名
7月13日	北里大学特別荣誉教授	大村 智氏	
		「北里柴三郎先生の求めたところを求めて」	50名
9月14日	キャノングローバル戦略研究所研究主幹	山下 一仁氏	
		「我が国の食料安全保障と高まる農政リスク」	66名
9月28日	臨済宗国泰寺派全生庵住職	平井 正修氏	
		「落語の神様 三遊亭円朝と禅」	60名
10月12日	株式会社日本総合研究所 創発戦略センターエクスパート	村上 芽氏	
		「SDGs時代の『少子化対策』に求めること」	37名
10月26日	慶應義塾大学総合政策学部教授	白井 さゆり氏	
		「世界経済金融情勢と日本」	61名
11月9日	洋画家・東京藝術大学名誉教授	絹谷 幸二氏	
		「創造力の鍛え方」	42名
11月24日	一般財団法人国際貿易投資研究所専務理事・前JETRO理事	野口 直良氏	
		「インドが抱える問題と課題：持続的な発展のために」	52名
12月14日	笹川平和財団上席フェロー	小原 凡司氏	
		「日本の安全保障戦略」	62名
12月26日	東京大学大学院経済学研究科教授	渡辺 努氏	
		「賃金と物価の好循環は実現できるか」	64名

○金曜講演会

(開催日)	(講師・演題・出席数)	
1月20日	東京大学大学院法学政治学研究科教授	高原 明生氏
		「習近平体制の実像と国際関係」
		74名
2月17日	日本経済新聞論説フェロー	芹川 洋一氏
		「今後の日本の経済の行方」
		75名

3月17日	株式会社双日総合研究所チーフエコノミスト	吉崎 達彦氏	
		「当面の米国政治・経済情勢を読む」	46名
4月21日	読売新聞特別編集委員	橋本 五郎氏	
		「どうなる日本の政治」	63名
5月19日	株式会社大和総研理事長	中曾 宏氏	
		「世界経済の展望と待ち受けるリスク」	55名
6月16日	神田外語大学教授	興梠 一郎氏	
		「いま中国で何が起きているのか?～「習近平体制」を読み解く」	88名
7月21日	法務大臣・衆議院議員	齋藤 健氏	
		「正念場の10年」	56名
9月22日	神奈川大学特別招聘教授	下斗米 信夫氏	
		「ウクライナ戦争と平和の条件」	54名
10月20日	東京大学大学院総合文化研究科教授	阿古 智子氏	
		「国家安全を強調する中国社会統制政策-最近の経済情勢を踏まえての分析-」	30名
11月17日	株式会社武者リサーチ代表	武者 陵司氏	
		「世界経済と市場展望～地政学環境の大変化と日本復活～」	41名
12月22日	中止		

○健康を考える講演会

(開催日)

(講師・演題・出席数)

第21回	4月7日	公益社団法人日本医師会会長	松本 吉郎氏	
			「地域住民の生命と健康を守るために」	32名
第22回	7月7日	脳科学者・山梨大学医学部教授	小泉 修一氏	
			「あの日に帰りたい-脳は若返るのか-」	45名
第23回	10月6日	株式会社AIメディカルサービス代表取締役CEO	多田 智裕氏	
			「世界に挑戦する日本の内視鏡AI」	41名

○会員共楽会

開館記念日の催しとして11月27日大会堂にて邦楽の会を開催、各出演者が熱演、多数の来会者を得て盛会であった。

○会員洋楽演奏会

11月28日大会堂にて開催、ピアノ、ヴァイオリン、フルート等の演奏、声楽等が披露され、多数の来会者を得て盛会であった。



## ○会員作品展覧会

11月27日・28日の2日に亘り大ホールにて開催された。日頃より丹精の油彩画、水彩画、日本画、書、手芸、陶芸、写真等多数出品され、充実した展覧会となった。

## ○クリスマス家族会

12月23日に開催された。午後4時30分よりディナー、午後6時よりアトラクションが催され、会員並びにご家族は楽しい団欒のクリスマスの夕べを過ごされた。

なお会員有志の会合及び同好会として、三日会、座談会、素修会、美術鑑賞会、コーヒー・ブレイクの会、ゴルフ会、囲碁同好会、将棋同好会、俳句同好会等の活動が盛んで会員の親睦を深めた。

## 6. 会報の発行

会報は1月に283号、4月に284号、7月に285号、10月に286号を発行。

## 7. 一般財団法人 東京都警察懇話会

昭和8年政財界の有力者が警視庁援護のため設立した財団法人で、戦後本団が全面的に会の運営等を支援している。平成20年の法人法改正に伴い、平成23年9月1日付けで東京都認可の一般財団法人に移行し、警視庁に対して支援激励等、各種事業活動を積極的に展開している。

本年度は、公益財団法人「暴力団追放運動推進都民センター」等警察協力5団体への支援や第49回主要国首脳会合等各種警備の激励、民間功労者の表彰、長期未解決事件の八王子警察署「大和田町スーパー事務所内けん銃使用強盗殺人事件（平成7年7月30日発生）」特別捜査本部等への激励のほか、大島警察署への激励、産経新聞社主催「都民の警察官」表彰への協賛、殉職者慰霊祭への供花、職員美術展への支援激励等、各事業活動により警視庁職員の士気高揚に貢献した。

現在の会員数 475社・団体

## 8. 皇宮警察桐栄会

皇室守護という崇高な使命を達成するために、日夜たゆむことなく護衛警備に専念する皇宮護衛官を支援するため、昭和26年設立されて以来、今日に至るまで本団が全面的にその活動を支援している。会の運営も概ね順調に推移している。

現在の会員数 260社

## 9. 防衛懇話会

経済六団体の発意により国防思想の普及高揚、自衛隊の健全な育成に協力すること

を目的として設立された防衛懇話会は、昭和40年創立以来本団がその取り纏め役に当たり、事業活動も順調に進展している。

本年度は、自衛隊第一線部隊及び自衛隊各種行事の見学をはじめ、講演会・座談会・防衛関係資料の配布等により国防思想の普及及び高揚に努めるとともに、国際貢献派遣隊員に対する激励及び遠隔地勤務隊員に対する慰問激励、退職隊員の就職援護活動に対する支援、殉職隊員追悼式の援助、体育振興援助、産経新聞社主催「国民の自衛官」表彰への協賛等を実施し、自衛隊の士気高揚と健全な発展に貢献した。

現在の会員数 611名（法人 540社、個人 71名）

#### 10. 寄贈を受けた図書、資料、会員名簿、報告書類

本年度に会員、諸官庁、会社、銀行、協会、団体、学会その他より寄贈された印刷物は次の通り。

図書18冊、各種資料及び雑誌566冊

#### 11. 会館見学者

本年度の当倶楽部会館見学者は次の通りである。

○明治大学経営学部 16名